

平成23年度第1回愛媛県公立大学法人評価委員会の会議結果

- 1 会議の名称 平成23年度第1回愛媛県公立大学法人評価委員会
- 2 開催日時 平成23年8月4日(木曜日) 15時00分から17時00分まで
- 3 開催場所 愛媛県庁本館 ドーム会議室
- 4 出席者 委員4名、事務局4名、大学4名
- 5 審議事項(議題)
公立大学法人からのヒアリング
 - ・平成22年度業務実績報告
 - ・平成22年度財務諸表
 - ・平成22年度利益処分(案)
- 6 審議の内容(全部公開)
公立大学法人愛媛県立医療技術大学の平成22年度における業務実績報告書、財務諸表及び利益処分案に関して、委員から法人役員に対しヒアリングを実施した。

(主な質疑等)

法人化のデメリットについて

デメリットは感じていない。法人化してよかったと思っている。

外部資金について、「大幅な増額はなかった」と総括しながら、小項目ではすべて(十分に実施)は矛盾してないか。

これまで国の科学研究費補助金(科研費)を申請してなかった教員も、申請ノウハウを学んで積極的な申請に努めた結果、申請数は増えており、獲得額は少額でも成果と考える。

22年度申請は新規が3件採択されており、数値目標(年に3~5件)は達成している。

【意見】数より有望なものを絞って申請することが重要

受託研究費は実績が予算を大きく下回っている。予算を組んで達成できなかったのにの評価でないのはアンバランス。予算自体が問題ではないか。

計画の小項目では、「外部資金獲得」の努力をすとしており、これには受託研究費だけでなく科研費も含まれる。受託研究費は230万円減で、見積の甘さはあったかもしれないが、科研費獲得等で努力しており、 と評価。

企業との共同研究等について

【意見】当委員会としては大学を育てようという姿勢が必要。 に評価を落とし

て大学の将来に悪影響があるなら、記載を前向きにとらえて評価していいの
ではないか

剰余金の発生原因について

清掃等の委託経費の入札減により約1,100万円、電気代等の節減約200万円、損害保険の入札減により約300万円。合計で1,700万円余であり、教員欠員による人件費の残ではない。

その他

- ・剰余金(目的積立金)の用途と使い方について
- ・保健師選択履修制度の導入経緯について
- ・国家試験不合格者へのフォローについて
- ・FD(大学教員の資質向上)委員会と教員の能力向上の取組みについて
- ・裁量労働制の導入、兼業の自由度増加について

〔事務局〕

保健福祉部管理局

保健福祉課調整管理係

TEL 089-912-2381

FAX 089-921-8004